

報道関係者 各位

2008年6月30日 日本科学未来館

## 国際宇宙ステーション(ISS)常設展示、リニューアルオープン 2008年7月31日(木)より一般公開

日本科学未来館(略称:未来館、館長:毛利 衛、所在地:東京都江東区青海)は、2008年7月31日(木)より5階常設展示「地球環境とフロンティア」エリアの国際宇宙ステーション(ISS)に関する展示をリニューアルオープンします。

今回のリニューアルでは、先般日本人宇宙飛行士が建設にあたった「きぼう」日本実験棟についての展示を新たに追加し、進行中の宇宙実験の動向など、「きぼう」の最新情報を紹介します。今後は、「きぼう」の建設や日本人宇宙飛行士の活動に合わせて、研究者や宇宙飛行士の生の声を届ける機会も設ける予定です。

また、導入部に、地表から高度400kmの周回軌道に至るまでの環境を体感できる映像装置を設置するのをはじめ、宇宙飛行士のインタビューや宇宙日本食の実物展示など、展示全体が宇宙空間を感じさせる構成・デザインとなります。

「きぼう」の最新研究成果の展示とストーリー性のある展示構成により、来館者がISSの意義を考えることのできる展示空間を作り出していきます。

### 概要

名称	「こちら、国際宇宙ステーション(ISS)」
公開日	2008年7月31日(木)より
場所	日本科学未来館 5F 地球環境とフロンティア(住所:東京都江東区青海2-41)
監修	毛利衛(日本科学未来館館長)
協力研究機関	宇宙航空研究開発機構、情報通信研究機構
協力研究者	井田茂(東京工業大学)、中村泰(宇宙航空研究開発機構)、亘慎一(情報通信研究機構)
展示デザイン	中村竜治建築設計事務所

### 展示構成

Zone1: あなたはどこで生きられる？

円筒スクリーンによる映像空間がISSへと誘います。ISSと地球の位置関係を知り、その空間の広がりや環境を体感することができます。

Zone2: ISSで生きるには？

「きぼう」日本実験棟が地球とは異なる環境下での挑戦であることを伝えるとともに、それを可能にするISSの居住空間についても、既存展示の「宇宙居住棟」を更新してより詳しく展示します。また、宇宙飛行士たちが実感したISSでの生活や各国の取り組みなどISSをとりまく現状についても紹介します。

Zone3: 地球の外からわかること

人類にとってのISSの意義を考えるゾーンです。球体ディスプレイ Geo-Cosmos が映す地球の姿を前に、研究者、宇宙飛行士、地上で運用管制を行なうスタッフなど、ISSに関わる人々からのメッセージを来館者に伝えていきます。



◁メッシュ素材の壁で包まれる展示空間(イメージ)



既存展示「宇宙居住棟」にも宇宙日本食などの展示を追加 ▷

一般公開に先駆け、7月30日(水)にプレス内覧を開催いたします。詳細は追ってご連絡いたします。

リニューアルに伴い、7月2日(水)より、常設展示「地球生命と宇宙、40億年の挑戦」を閉鎖いたします。

本件に関するプレスリリース、関連画像は未来館ホームページよりダウンロードしてご利用いただけます。

一般からのお問い合わせ先	このリリースに関するお問い合わせ先
日本科学未来館 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL:http://www.miraikan.jst.go.jp	日本科学未来館 広報・国際渉外室 広報担当 (press@miraikan.jst.go.jp) 〒135-0064 東京都江東区青海2-41 TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150